

はじめに

東京農業は、都民の食卓に新鮮で安全安心な農畜産物を日々供給し、生活に彩りを与えています。その生産基盤である農地は、環境保全や防災など多面的な機能を有する、大切な緑の空間です。こうした住宅地と農地の共存は、世界的にも希少な事例であり、未来に残すべき都民の宝と言えましょう。



近年は、農業者の高齢化や担い手の不足、相続に伴う農地の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大や不安定な世界情勢の影響による資源・資材の高騰など、多くの課題に直面してまいりました。

一方で、都市農業の重要性が見直され、国においても特定生産緑地の創設など重要な制度改正が行われています。今が、ゲームチェンジの時です。農業を安定的に継続できる環境が整いつつあるこの機を逃すことなく、次世代につなぎ、発展させていかなければなりません。

東京都は、状況の変化を踏まえ、新たな「東京農業振興プラン」を策定しました。女性の活躍をはじめ多様な担い手の確保・育成、SDGsや気候変動への対応など環境保全への配慮、DXを活用した生産性の向上、ブランド化の推進による稼ぐ農業の実現など、将来を見据えた施策を展開いたします。

貴重な緑の農地を保全し、持続可能な魅力あふれる産業に育て上げていきたいと思えます。都民の皆様、農業者・農業団体の方々、みんなで力を合わせ、「農」の振興を東京全体の活性化につなげてまいりましょう。

令和5（2023）年3月

東京都知事

小池百合子